

第1回ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 平成28年5月28日（土） 14時～16時
- 開催場所 我孫子北近隣センター
- 参加者 32名
- 出席者 星野市長、日暮総務部長、大畑財政部長、四家市民生活部長
渡辺環境経済部長、大谷建設部長、渡辺都市部長、他10人
- 懇談要旨

市民：熊本地震の教訓を踏まえて木造建物の緊急点検の見直しをしたのか。

昨年の常総市の鬼怒川のように、利根川も曲がって流れていますので、利根川の弱点の対応はどうか。

都市部長：木造住宅は、昭和56年5月に基準が大幅に変わったので以前に建てられた建物を重点的に耐震基準を満たす形で改修を進めるよう支援をしていきます。

旧基準の建物は、年々数が減ってきていますが、昨年度時点で全家屋の15%が旧基準で建築されたものと把握しています。耐震の必要性については、再度お知らせできるよう工夫していきます。

市長：我孫子市は小中学校、保育園、市役所等について耐震化は終わっています。民間はISO.6、公共施設はISO.7以上震度6.0強で設計していますが、震度7強が2度来るかどうかはわかりません。市の震度計は千葉県が市役所に設置していますが、1から2低く出ます。逆に市役所の地盤はかなり強い事が証明されていますが、5年前の地震の時、並木や都など昔の低地部分は弱いのが現状です。

常総市の件で我孫子市では、一番決壊してほしくないのは、利根川ですが、明治3年に布佐で決壊したのが都地区です。そういう状況で国が青山や都、江蔵地などを補強しています。

また、利根川は越流堤があるので、増水した時は水が入ることで決壊をしないようにしています。もし、万が一決壊した時は5m程上昇するので、改修工事で決壊させないようにします。市で一番怖いのは、ゲリラ豪雨です。一時間に100mm雨が降るとどの市も対応できません。

市民：①我孫子2丁目の公園と白山跨線橋からマンション側に歩道橋を設置及び信号

機の設置についてお聞きしたい。

②水の館の費用で、農産物直売所に今ある「あびこん」が移るのか。また、年間の維持費について。

③手賀沼終末処理場の高濃度汚泥の搬出先はどこか。

建設部長：①白山跨線橋と歩道橋はマンション側の敷地に対して協力を得られないと出来ない。合意は得られていません。また、信号機についても以前事故で線路上に車両がはみ出したので、市もマンション側としても設置する考えは同じです。設置するとなると歩道橋を降りた所の下側の信号機を撤去し、また、交差点の信号機を設置するには道路を広げなければならない。現在見直しをしているところです。

③汚泥の焼却灰については、指定廃棄物約550tあります。終末処理場内は一時保管ですが、昨年4月に国が千葉県内に長期管理施設の方針を出したが、課題が多いので最終決定はまだです。

市長：①白山の跨線橋は、計画を作成してJRと千葉県と協議しているが、マンション（シティア）の地権者の理解は得られていないので進んでいない。

③終末処理場は、近隣7市から流れてくる下水を処理し汚泥となるが、その処分先は最終処分場として国が千葉市と指定したが千葉市が承諾していないので、終末処理場内で保管をします。

②水の館は20年以上経っているので、4億4千万円かけてエレベータの交換や空調設備、外壁工事などの老朽化工事を実施しますが、千葉県から2億4千万円をいただいています。1階には直売所と飲食所を造るのに2億3千万円掛かります。そのうち農林省から1億円頂いて工事を実施します。北側と南側に出入り口を設け、西側の小さな展示場は水環境啓発事業として残こします。東側は農産物直売助の出入り口とします。また、シャワー室等はトイレを一つ潰して工事をしますが、今年の7月から工事をして来年3月に完了します。

アンテナショップは水の館に移動させます。移動は来年の3月になりますので今の所の維持はこのままです。

維持費は千葉県が環境財団に委託して年間8千万円で運営していますが、市としては、管理費として5千万円と経済環境部及び会議室として活用させていただきます。

市民：①あびバスの並木ルートについて、もっと便が多いといいなと思います。朝の7時、8時代はサラリーマンが乗りますが、近隣センターができてセンターを経由するようになった。駅へ行く方は後田公園で降りるが、近隣センターで降りる方を見たことはありません。朝の便だけ並木6丁目から我孫子外科に行き直接駅へ行くルートにお願いしたい。

②柏のアリオがオープンして、我孫子駅北口から無料バスが運行しているが、朝など病院関係などで混雑をしているので、公共機関を優先してもらいたい。

市長：①あびバスは今年度、新木ルートと根戸ルートを検証していますが、現在のバスはメーカーでは製造していないので、何れ全路線で新しい車両に変更されます。

また、新木ルートの試走をしたが、いずれは並木ルートも新車両になるので、いつか試走をしてルートの変更があると思うので皆様に協力をお願いします。

朝のルートについては、いらぬルートがあればパスをしたいと思います。

②アリオの送迎バスについては、南口はいっぱい北口に回ってきました。両方とも病院や大学等のバスで混雑している。協議会等もありますので、そこで調整をさせていただきます。

市民：①3. 4. 14号線(久寺家・手賀沼線)がかなり出来上がってすばらしいが、ここを夏のイベント会場に使用したら良いのではないか。

②我孫子駅周辺は歩行禁煙重点地域になっているが、煙草をグレーチングの中に捨てたりしている。駅には監視員がいるが道路の方にも来てもらいたい。

歩行禁煙に関連して、路上に看板はありますが、その脇に過料2万円など表示をお願いしたい。また、柏市は歩道に表示されていますので、我孫子市でも路上に禁煙の表示をしてもらいたい。

環境経済部長：②駅周辺については、喫煙しないように指導しているが、看板は見てわかるように罰金も含めて周知させていきます。

市長：①手賀沼・久寺家線については、用地買収の地権者は1件だけですが、イベントを実施するよりも早く道路の開通を優先させたい。今年度末までに用地交渉をし、来年度工事をして開通させたいです。

市民：①在宅介護が叫ばれているが、我孫子市の在宅医療の取り組みについて話を聞きたい。

地域包括センターで29年度末までに医師会と話し合いをしているが、歯科については在宅医療が実施されている。近隣では在宅医療の問題で取手市は取手協同病院、柏市は青空診療所が設置されているが、病院に入院しないで家庭で静かに最後を向かいたい人が利用できるように、我孫子市独自の診療所や千葉県助成を受けて開設を考えてもらいたい。

②行財政改革への推進として職員を対象とした研修が市民に見えるのか。
総務部長：②職員研修については、毎年研修計画に添って実施していますが、市民に見えるようには実施しておりません。研修を行う大きな目的は、人材育成や市民への窓口対応など職員の意識向上で取り組んでいます。

市長：②職員研修については、職員の意識を変えて行くことを目標に幹部、中堅、若手職員と分けて研修をしています。最近は大学を卒業して直ぐの人と民間企業を3年間くらい経験した人をバランスよく採用しています。

①在宅医療については、基本的に公立医療を造る予定はありません。救急医療は我孫子に6箇所、取手市の協同病院と併せて7つあります。一般の診療所では在宅医療ばかり実施していると外来の先生がいなくなってしまう。個人の開業医の方で外来診療を維持しながら在宅医療も協力していくには、輪番制を使った診療を含めて医師会と話し合っていきます。

1次、2次、3次医療をきちんと設定して、我孫子市は2次医療として救急医療体制を構築しながら、3次医療体制は柏市の慈恵医科大学病院や松戸市の市立病院、印西市の日本医科大学病院という体制をとっています。

市民：ときわ台町会は、我孫子第4小学校や白山中が隣接しているが、問題として道路が狭いのであびバスがやっと通れるくらいです。最近火事があったが風がなかったので1件だけで済みました。また、古い家が多いので地震で火災が発生するこの辺一体が全焼してしまいます。消火栓を造っても一斉に水を出すと出ないので、消防車が水を持って入ってきますが、道路が狭いので今後検討してもらいたいです。

市長：我孫子市は今年で市政46年になりますが、それだけ古い宅地開発が多いので道路が狭いです。そのため救急車や消防車が通れないので道路の拡幅も全面的には難しいので一部待避所だけでも設置すれば変わりますが、地元の協力が得られる所から実施しています。土地の寄付でも測量費や登記費用などが掛かりま

すので皆様の協力が必要になってきます。

また、消火栓があっても一斉に使えば水が出なくなるし、道路が狭いため消防車が入れないので消防団の車は小さいことから上手く活用していきます。

市民：桜プロジェクトで来年度にイベントを本格的に実施したいが、市全体をまとめる部署を決める。市政45周年が過ぎて、5年後に50周年になりますが苗木が4年経つと桜が咲きますが主管部署を決めて取組んでほしい。

市長：桜プロジェクトは、昨年からスタートしていますが、JRで毎年春に発行している東京近郊で桜の見所というパンフレットを毎年作っています。昨年3月に手賀沼遊歩道をPRしてもらったので、多くの方が見に来て下さいました。桜が植えられる時期は冬なので今年の冬から毎年50本くらいを3年くらいかけて植えようとしたが、ソメイヨシノが終わってしまうと寂しいのでソメイヨシノ以外の種類も植えることにしました。始めは手賀沼公園から水の館まで植えるつもりでしたが、寄付をするのでうちの近くの公園にも植えていただきたいと要望がありましたので、当初より50本から70本に増えました。

桜の苗木の寄付については、今年は6月6日から10日間に募集させていただきます。3万円の寄付でプレートに名前を記入します。

木を植えた後の管理は公園緑地課になりますので、造園業者と一緒に桜の木を守っていきます。

多くの方が我孫子市に来ていただくために、賑わいづくりの一つとして、桜を活用させていただきます。

市民：①冒頭、熊本地震の件で話をしていましたが、このごろ自然災害については想像がつかない災害が多すぎます。我孫子市としての対策は国の基準では追いつかないのではと思いますので国の5割増に対策を作り直してほしいです。

②近隣センターの前の道路が夜になると意外と暗いので危ないです。施設の責任者として、もう少し明るくしてほしいです。

都市部長：今の国の基準では、まだ出来ていない建物がいっぱいなので、まず現在の基準をクリアしてから市独自に実施して行きます。

建設部長：道路が暗いことについては、前の道の街路灯は市が管理しているので来週夜に歩いて見てから検討します。

市民：今日の資料の4ページについて、我孫子市公共施設等の歳出のうち2019年、

2020年の2年間が増えているがなぜ増えているのか。今回、我孫子市の計画が出たのは良いですが公共施設白書など色々ありますが、市民の生活が年々暮らしやすくしていくための情報発信を市民に伝えてもらいたい。

市長：現在、この公共施設等総合管理計画は市民の皆様から意見を求めています。この2年間については、クリーンセンターの建て替えを予定しているからです。もっと詳しい資料を近隣センターに置いておきますので、市民の皆様の意見をいただきたいと思います。

市民：歳入も載せてもらいたい。40年後には、このような街にしたいんだが駅前にはこんな商店街がある。手賀沼のほもりには桜が満開になっているなど、将来については、住民の意見も入れながら計画に反映してもらいたい。

市長：管理計画を見ると夢も希望もなくなってしまいそうですが、公共施設全体の規模は小さくなるかもしれませんが、その分、質を高めていきます。今後、市民の皆様と意見交換をしていきます。

住宅政策を進めることや子育て施策を進め、待機児童ゼロを堅持などすることで、我孫子市に持ち家を購入し定住していただきたいと思います。情報発信では、東京や茨城、埼玉でPRしておりますし、今後も、積極的に策定して定住化につなげていく考えです。

様々な計画の策定では、市民の皆さんの意見を反映していきます。